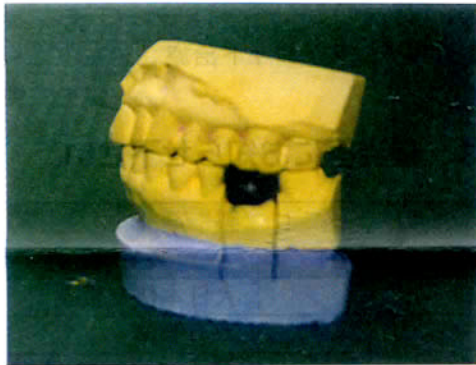


歯科技工士の仕事

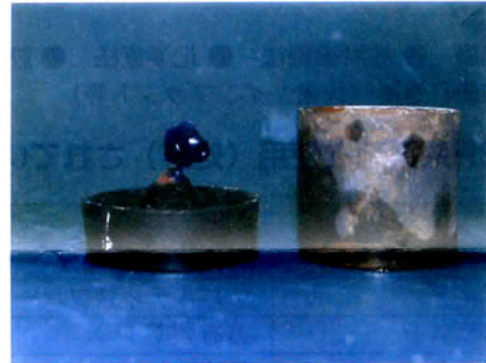
自分の仕事を尋ねられて「歯科技工士です。」と答えると「銀歯や入れ歯を作るのですか？」と判って頂ける場合が多いですが、「どのようにして作っているのですか？」と聞かれてなかなか簡単に説明出来ずに困る事があります。今日はこの場を借りてちょっと歯科技工士の仕事について説明したいと思います。

皆さんが歯科医院で虫歯の治療（削ったり消毒したり）をした後、「型」を採った事があると思います。歯科技工士の仕事はそこから始まります。

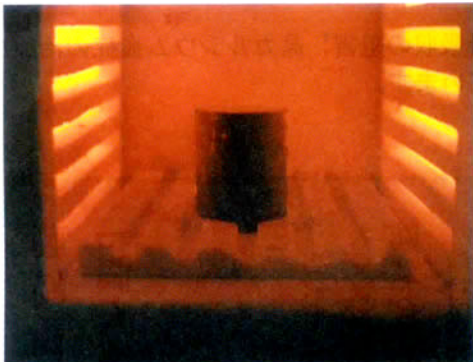
虫歯の治療をして銀歯等を被せる形を整えて、型(印象)を採り石膏の模型にした物を受け取ります。



①ワックス（ろうそくのろうの様な物）で失われた機能や形態を再現します。



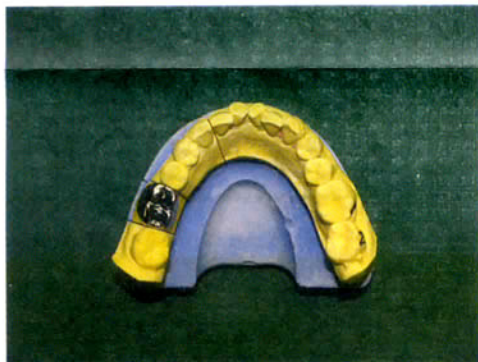
②ろう型を取りはずし鉄のリングで囲い石膏の様な埋没材を流し込み鑄型を作ります。



③固まったら700℃の高温の炉で加熱してろう型を焼却します。



④加熱した鑄型に金属を溶かして流し込むとろう型と同じ形の金属に置き換わります。



⑥完成した銀歯が歯科医院へ渡りみなさんの口の中へ装着されます。

⑤周りの石膏の様な埋没材から金属を掘り出します。噛み合わせや隣の歯との間隔の微調整をしてピカピカに磨きます。

歯科技工士は歯科医院で患者さんと接する事はあまりありませんが、このようにして歯科医院とは別の場所でみなさん一人一人に完全オーダーメイドの完全手作りで銀歯や詰め物を製作しています。

歯科技工士 一同